

動物実験に関する自己点検・評価報告書

昭和女子大学

平成 30 年 4 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>昭和女子大学における動物実験に関する規程（平成 20 年 4 月 1 日制定）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>機関内規程が適正に定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>昭和女子大学における動物実験に関する規程（平成 20 年 4 月 1 日制定）</p> <p>動物実験委員会名簿</p> <p>動物実験申請書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>年 2 回、申請された動物実験申請書を審査する委員会が定例で開かれて審査を実施している。</p> <p>定例以外にも、必要に応じて審査委員会を開催している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>昭和女子大学における動物実験に関する規程（平成 20 年 4 月 1 日制定）</p>

動物実験申請書 動物実験結果報告書 飼養保管施設設置承認申請書 施設等廃止届
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 審査規程が上記規程に定められている。 動物実験委員会規程及び様式が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 該当する動物実験は実施していないため、自己点検のための資料は作成していない。
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 遺伝子組み替え動物、感染動物の作成およびこれらを用いた実験は行っていない。改善すべき問題等は存在しない。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 昭和女子大学における動物実験に関する規程 (平成 20 年 4 月 1 日制定) 第 7 章実験動物の飼養及び保管 動物実験施設飼養・保管マニュアル 緊急時対応マニュアル 実験動物飼養保管施設リスト 実験動物管理者名簿

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

飼養保管が適正に実施されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

将来的には動物飼育室は別棟に設けること検討する。(継続課題)

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

動物実験実施者 (教員・学生) に対して、飼育室内の整理整頓、エアフィルターの定期交換、室内清掃などについて積極的な指導を行っている。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

昭和女子大学における動物実験に関する規程 (平成 20 年 4 月 1 日制定)

動物実験申請書

委員会記録

審査結果報告書

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

申請書の提出を年 2 回行い、委員会を開催して審査を行っている。

3R の視点をふまえて、適正な動物実験の方法を選択して実施しているかを確認している。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

昭和女子大学における動物実験に関する規程 (平成 20 年 4 月 1 日制定)

動物実験申請書

委員会記録 審査結果通知書 動物実験報告書 動物実験の自己点検票（様式 2 - 1）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 昭和女子大学における動物実験に関する規程（平成 20 年 4 月 1 日制定）第 5 章動物実験等の実施に従い、動物実験計画書が提出され、審査後、適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 昭和女子大学における動物実験に関する規程（平成 20 年 4 月 1 日制定）第 8 章安全管理
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 該当せず
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 昭和女子大学における動物実験に関する規程（平成 20 年 4 月 1 日制定）第 7 章 実験動物の飼養及び保管 動物実験施設飼養・保管マニュアル 実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式 2 - 2）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験は適切に実施されており、特段の問題は発生していない。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式 2 - 2）

昭和女子大学における動物実験に関する規程（平成 20 年 4 月 1 日制定）第 6 章 施設等

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

実験動物が飼育室から逃げ出すことを防ぐための設備を付帯済みである。これにより、ラット・マウスが動物室から逃亡することを防ぐことができる。

平成 28 年度に空調ダクトの大規模改修が行われ、空調は改善した。しかしながら、施設は老朽化しており、特に「飼育室の与圧」は十分とは言えない。一層の改善が必要である。

4) 改善の方針、達成予定時期

今後も定期的な保守点検を継続すると共に、飼育室の改修も検討する。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

昭和女子大学における動物実験に関する規程（平成 20 年 4 月 1 日制定）第 9 章 教育訓練
教育訓練実施記録

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

平成 24 年度に制度化し、以降動物実験実施前に、教育訓練を行っている。

教育訓練実施記録により、実施状況を判断している。

4) 改善の方針、達成予定時期

各年度毎に判断する。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果


- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。


<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 昭和女子大学における動物実験に関する規程（平成 20 年 4 月 1 日制定）第 10 章 自己点検・評価・ 検証 昭和女子大学ホームページ 申請書 委員会記録 動物実験報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 自己点検評価は 3R の視点も含めて実施した。 情報公開は平成 21 年から行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

1) 昭和女子大学における動物実験委員会の構成 第 6 条に掲げる委員：教授 6 名、准教授 2 名、外部委員 1 名 2) 昭和女子大学における動物実験の実施状況と許可申請書の年度別数量と実施状況 別紙のとおり 3) 動物種毎の飼育数の集計について 「動物実験に関する現況調査票（平成 30 年 3 月）」のとおり 機関特有の点検・評価事項及びその結果 該当なし

動物実験委員会委員長 高尾 哲也 
平成 30 年 4 月 12 日 承認

学長 金子 朝子 
平成 30 年 6 月 7 日 承認